

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1720】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目05 まちづくり関連業務				
予算区分	款	08	土木費	所属	桑名駅周辺整備事務所
	項	04	都市計画費		
	目	04	土地区画整理事業費	連絡先	0594-24-1196
	細目	007	桑名駅周辺整備事業費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	市民	公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○1期事業としての「桑名歴史公園地区都市再生整備計画」の事後評価にて課題とされた防災の観点から“安全・安心を備えた快適な暮らしを育む”を目標とした「桑名地区都市再生整備計画」を2期事業として、平成23～27年度の5カ年を事業期間とし、計画に沿った事業進捗を図る。</p>	<p>公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。</p> <p>● ある ○ ない</p>
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	安全・安心を備えた快適な暮らし	理由
		<p>今後は新たに桑名駅周辺地区として平成28年度から平成32年度の5カ年計画を策定しコンパクトなまちの形成を図ることにより、民間活力の導入も可能である。</p>

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	桑名駅周辺地区都市再生整備計画区域面積	ha	900	900	900	9.7	
活動指標	桑名駅周辺地区都市再生整備計画事業進捗率	%	65.3	95.4	100.0	100	
成果指標	桑名駅東西駅前広場バリアフリー化率	%	目標値 実績値 63.0 63.8	64.0 64.2	65.0 64.2	25	
投入コスト	事業費計			2,361	2,264	4,325	3,000
	財源内訳	国支出金	千円	1,200	1,200	4,000	1,500
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		1,161	1,064	325	1,500
	所要人員 (正職員)		人工	0.26	0.80	0.83	
所要人員 (嘱託再任用)		人工	0.00	0.00	0.00		
人件費合計		千円	1,813	5,663	5,675		

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>● あがっている ○ 横ばい ○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>● 拡充 ○ 休止廃止 ○ 現状維持 ○ 見直し ○ 縮小</p>	<p>今後は新たに桑名駅周辺地区として平成28年度から平成32年度の5カ年計画を策定しコンパクトなまちの形成を図る。</p>
--	--

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1476】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 換地諸費等業務事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	桑名駅周辺整備事務所
	項	04	都市計画費		
	目	04	土地区画整理事業費	連絡先	0594-24-1368
	細目	006	桑名駅西土地区画整理事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名駅西土地区画整理事業区域の権利者及び住民 桑名駅西土地区画整理事業区域の面積	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○桑名駅西土地区画整理事業を推進するため、測量業務委託や審議会運営補助他業務委託などを実施する。	区画整理事業については高い専門性が要求される為、技術支援を含め、公民連携が必要である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
○仮換地指定に関する事項について諮問する。 ○住民主体でまちづくりを進める。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	対象権利者数	人	1,620	1,620	1,620	0	
	対象面積	ha	26.6	26.6	26.6	0	
活動指標	仮換地供覧数 (権利者)	件	500	500	500	0	
	駅西まちづくりの会、各部会、地区説明会、勉強会等の年間回数	回	4	3	10	0	
成果指標	不服審査届出件数	件	0	0	0	0	
		目標値 実績値	0	0	0	0	
投入コスト	事業費計		11,426	8,334	13,328	0	
	財源内訳	国支出金	千円	3,600	4,391	3,500	0
		県支出金					0
		地方債			2,500		0
		その他					0
		一般財源		7,826	1,443	9,828	0
	所要人員 (正職員)		人工	1.27	0.98	0.86	
	所要人員 (嘱託再任用)		人工	1.50	0.61	0.33	
人件費合計		千円	13,938	9,076	7,002		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

予算編成の見直しにより、土地区画整備事業に統合

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2068】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 桑名駅周辺施設整備事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	桑名駅周辺整備事務所
	項	04	都市計画費		
	目	04	土地区画整理事業費	連絡先	24-1196
	細目	002	ブランド推進事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市民、来訪者等 (JR桑名駅、近鉄桑名駅、三岐西桑名駅とその周辺の公共交通機関利用者等)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○桑名駅周辺について、平成16年度に策定された「桑名駅周辺整備構想」をもとに計画された整備計画に対し、「自由通路等に係る費用負担等に関する要綱」等に沿った形で法的整理及び事業手法等を行う。	桑名駅西土地区画整理事業と一体施行することにより、駅周辺における民間活力の誘導といった効果が期待される。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
まちの玄関口にふさわしい利便性が備わった駅周辺地区が形成され、市内外から駅を中心に安心して人々が集まり、活発的な交流が展開される。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	桑名駅の乗降客数	人	6,165,942	6,400,000	6,400,000	6,400,000
活動指標	関係機関調整回数	回	30	47	60	60
成果指標	桑名駅東西駅前広場間公共移動距離	目標値	80	80	80	80
		実績値	500	500	500	
投入コスト	事業費計		3,724	46,075	0	180,000
	財源内訳	国支出金				94,000
		県支出金				0
		地方債				81,700
		その他	10			0
		一般財源	3,714	46,075		4,300
	所要人員 (正職員)	人工	1.12	1.59	1.62	
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	1.62		
人件費合計	千円	7,810	11,256	16,582		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

H28年度については、都市構造の課題である鉄道による東西分断について解消に先駆けて駅周辺を暫定的な利用を促す必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1478】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目07	土地区画整備事業			
予算区分	款	08	土木費	所属	桑名駅周辺整備事務所
	項	04	都市計画費		
	目	04	土地区画整理事業費	連絡先	0594-24-1439
	細目	006	桑名駅西土地区画整理事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名駅西土地区画整理事業区域	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○桑名駅西土地区画整理事業を推進するため、建物等移転補償調査や建物等の移転補償及び、道路整備他工事を実施する。	駅周辺整備に関する移転の促進を図るため、公民が連携をとり中継移転用住宅の整備を進める。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
道路・公園・駅前広場・下水道等の公共施設が整備され、ゆとりのある生活環境が造られ、駅西口への円滑な交通処理がなされる。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	対象面積	ha	26.6	26.6	26.6	26.6	
活動指標	造成面積	ha	0.6	0.3	0.1	0.3	
成果指標	事業の整備率(累計事業費/全体事業費)	%	41.0	41.0	41.0	45.0	
			36.2	39.0	40.8		
投入コスト	事業費計			914,932	693,937	482,915	1,093,087
	財源内訳	国支出金	千円	359,570	265,539	121,521	413,000
		県支出金					0
		地方債		505,100	376,400	215,300	599,200
		その他					0
		一般財源		50,262	51,998	146,094	80,887
		所要人員(正職員)	人工	2.58	2.67	2.30	
		所要人員(嘱託再任用)	人工	0.76	1.02	0.68	
		人件費合計	千円	20,565	22,477	18,036	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

事業を円滑に進めていくため、事業の進め方などについての情報発信や地域の方との意見交換を活発に行い、桑名駅東西地区を一体とした整備計画に基づいて施行をする。また、先行建設街区についても引き続き早期整備に努める。